

# Dynavector DV XX-2 MKII 取扱説明書

このたびは、ダイナベクター MC カートリッジ DV-XX2MKII をお買い上げいただき誠に有難うございました。ご使用前に本説明書をお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

## ● 開発の経緯

XX-1 は 1989 年に世界で初めて、フラックスダンパーとマグネットのソフト化機構（いずれも特許取得）を採用した MC カートリッジとして誕生しました。XX-1 の開発に際しては、磁気回路における磁場の影響、すなわちカンチレバーポピンエアギャップ内での磁束の流れがいかに再生音へ影響するかを考察し、より理想的な磁気回路を構成しました。その自然且つスムーズで滑らかな再生音は 18 年以上を経過した今でも、世界の著名オーディオ雑誌で高い評価を獲得しています。

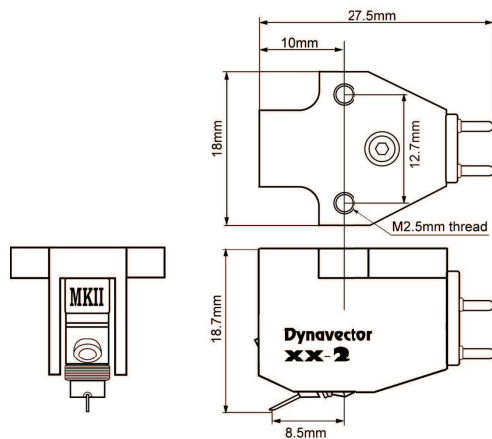
XX-2MKII はフラックスダンパー機構はそのまま継承しながら高価なアルニコマグネットを使用することで、その高品位な再生能力は更に向上しています。アルニコマグネットは高い磁束密度を持ちながら磁気抵抗が極めて小さいため、音質的に優れ安定した出力電圧を得ることができます。

XX-2MKII ではさらに、より堅牢な磁気回路構造を採用し、それを支えるボディにも高硬度アルミニウムを採用しています。この高剛性化により、スペックでは表せないアナログの持つ優位性が再認識されます。

## ● 主な特長

XX2MKII の音楽性豊かなその再生音は、力強い深みのある低音、透明感がありクリアーではあるがあくまで滑らかな高音が特長です。特に高音域は、多くの MC カートリッジが持っているハーシュネス（ある種のうるささ）がなく限りなくスムーズです。

この全再生帯域における再生音のベストバランスは、ダイナベクターのカートリッジに対する長きに亘る豊富な経験と熟練技術者による綿密なる一品一品の組立て調整により始めて実現可能となるものです。



## ● 取扱方法

### 1. トーンアームへの取り付け

カートリッジ本体を付属のネジで、お手持ちのヘッドシェルに取り付けます。ヘッドシェルへの取り付けは、カートリッジ針先が、使用されるトーンアーム指定のオーバーハング長になるよう正確に取り付けます。

### 2. 針圧

適正針圧は 1.8～2.2g で、室温 20℃ が基準です。室内温度が高い場合はやや軽め、低い場合はやや重めの針圧でお使いください。

### 3. 出力電圧

出力電圧は 0.28mV です。市販のヘッドアンプや昇圧トランスが別途必要になります。これらのデバイスは再生音に大きく影響しますので、良質な機器をご選定ください。

### 4. 針先のクリーニング

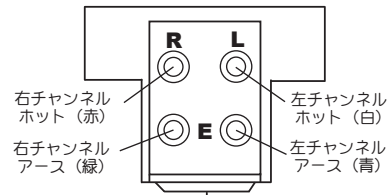
針先が汚れた場合には付属のブラシを用いて、カンチレバーの根本の方から針先へ向けて軽く払うようにクリーニングしてください。通常のメンテナンスはノンアルコールの良質なスタイラスクリーナーの使用をお勧めします。

### 5. 針交換について

針先が磨耗した場合は、針交換修理かトレードイン価格にて新品とお取換え致します。詳しくはお買い上げいただいたお店か直接弊社にお問合せ下さい。

### 6. 接続方法

リード線を用いて、各端子をお手持ちのヘッドシェル端子にしっかりと接続してください。



## ● 仕様

型 式	: 低出力 MC カートリッジ フラックスダンパー付
出力電圧	: 0.28mV (1KHz, 5cm/sec)
チャンネル	: 30dB 以上 (1KHz)
セパレーション	
チャンネルバランス	: 1.0dB 以下
周波数特性	: 20 ~ 20,000Hz (± 1 dB)
コンプライアンス	: 10 mm/N
針 圧	: 1.8 ~ 2.2g
推奨負荷抵抗	: 30 Ω 以上
カンチレバー	: 6mm 長ソリッドボロン
スタイラス	: PF ラインコンタクト針
自 重	: 8.9g

## ダイナベクター株式会社

101-0031 東京都千代田区東神田 3-2-7  
TEL 03-3861-4341 FAX 03-3862-1650  
URL <https://www.dynavector.co.jp/>